

埼玉県信保協、経営改善・再生で意見交換 県内 11機関が方針共有

2024.07.16 19:06



参加金融機関に挨拶する県信保協の小暮裕信常務（右から2人目、7月16日、ソニックシティ市民ホール）

埼玉県信用保証協会（砂川裕紀会長）が事務局の「彩の国中小企業支援ネットワーク」は7月16日、金融分科会を開催。埼玉県中小企業活性化協議会の担当者を招き、埼玉県内11金融機関が参加。中小企業の経営改善・事業再生支援について意見交換し、支援方針などを共有した。

県信保協は保証付き融資の割合が高い取引先などから、経営改善・事業再生が必要な16先をピックアップして県中小活性化協と事前協議を6月に開始。早期の経営改善・事業再生のためには、金融機関との連携が不可欠のため、今回の意見交換会を開いた。

参加した金融機関は、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、4信用金庫（埼玉県、川口、青木、飯能）、3信用組合（熊谷商工、埼玉、埼玉県医師）、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫の融資・推進部門の部長・課長クラスが中心となった。